

アメリカ中間選挙４つのシナリオ総点検

（投資家向けチェックシート）

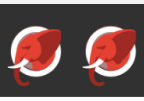
シナリオ A ｜ 民主党が下院を奪還、共和党が上院を維持／ねじれ議会

政策面		市場面		チェック
01	大型減税・大型歳出法案は通りにくい	株式	規制強化によるAI・半導体株への影響は限定的か？	☐
02	下院による政権監視が強まる	金利	財政拡張期待の後退なら低下要因	☐
03	上院では人事承認を共和党が維持	米ドル/円	米金利低下はドル安要因。予算対立による円高懸念も	☐
04	関税、外交、移民など行政府主導の政策は継続し得る	注意点	政府機関閉鎖・債務上限問題（政策停滞）	☐
05	予算協議や政府機関閉鎖のリスクが高まる可能性			

ポイント　法案は止まりやすくなる一方、大統領権限による関税・外交政策は続く可能性

メモ欄

シナリオ B　共和党が上下両院を維持／トリプルレッド継続



政策面		市場面		チェック
01	トランプ減税・歳出政策を進めやすい	株式	政策停滞後退やAI・半導体投資の高まりからプラス期待	☐
02	規制緩和を進めやすい	金利	財政赤字・国債増発への懸念は上昇要因	☐
03	エネルギー開発や防衛支出を推進しやすい	米ドル／円	金利差拡大ならドル高・円安要因	☐
04	関税・移民政策を議会が強く阻止しにくい	注意点	金利上昇が強まると高PER株や住宅関連には逆風	☐
05	ただし、僅差の多数では共和党内の意見調整が必要			

ポイント　初期反応は株高・金利高・ドル高でも、金利上昇が株高を打ち消す可能性

メモ欄

シナリオ C　民主党が上下両院を奪還／民主党議会

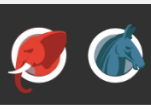


政策面		市場面		チェック
01	政権の大型法案は成立が困難	株式	AI・半導体への規制強化懸念がマイナス要因	☐
02	政権監視と調査が強まる可能性	金利	財政拡張期待の後退なら低下要因	☐
03	規制、医療、環境政策を巡る対立が拡大	米ドル／円	米金利低下や債務上限問題はドル安要因	☐
04	大統領の拒否権があるため、民主党公約がそのまま実現するわけではない	注意点	大統領拒否権と行政権限が残るため、政策は全面反転しない	☐
05	関税や外交など大統領権限の強い政策は継続する可能性			

ポイント　政権はレームダック化しやすいが、関税・外交政策まで消えるとは限らない

メモ欄

シナリオ D　結果判明が遅れる・議席差が極端に小さい



このシナリオでは、どちらが勝つかよりも市場の焦点となるリスクがあります。

想定される動き

01 開票結果への異議申し立て

02 再集計や集計遅延

03 米ドル/円、金、米国債の値動きが交錯

04 流動性低下によるスプレッド拡大

05 SNS上の誤情報に注意

ポイント　短期相場では、勝者の党派以上に「いつ結果が確定するか」も重要

メモ欄